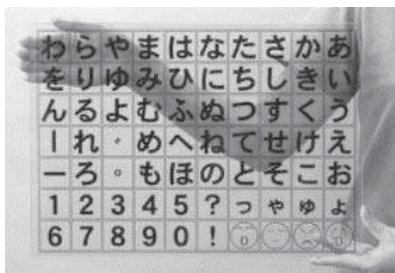


・透明文字盤

透明の文字盤です。読み取る人と伝える人の間に掲げて伝える人の目線を読み取ります。



市販品もありますが
アクリル板を買って手作りも可能！

難しそうに見えますが
大きな枠から練習すると
案外慣れてきます♪

特徴

やや複雑な内容を伝えられる。出先や停電時でも使える。
読み取る人・伝える人とも慣れてくると早くできる。

③デジタルな道具を使う方法

・スマホ、タブレット

指の少ない力で操作できます。



・意思伝達装置(パソコン)

マウスやスイッチ、視線を読み取る機械で操作できます。
選んだ文字・単語を読み上げてくれます。

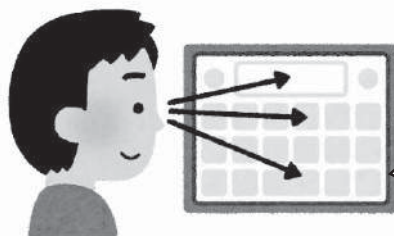


会話だけでなく、
インターネットやメール、LINEなども
できます！

離れた場所のお孫さんお友達とも
繋がることができます♪

★意思伝達装置は、スイッチや視線で操作できます

少ない力で押せるスイッチ



視線を読み取る機械を付けると
パソコンを見つめるだけで
操作できます！

特徴

複雑な内容を伝えられる。メモに残して伝えたいことをまとめられる。
メールやネットでたくさんの人とつながることができる。

コミュニケーションをとる方法はたくさんあります。

ご自分に合った方法を探すには、専門職(リハビリ、看護師、ケアマネジャーさんなど...)にご相談ください。

今回ご紹介した方法はほんの一部です。「こんな方法もあるよ!」「これは難しかった...」など
交流会や個別相談等で、ご意見・ご相談いただけたら嬉しいです!

中には練習や道具の準備が必要な方法もあります。

「今は必要ないけれど、やってみようかな?」という早めのチャレンジで
世界が変わるかもしれません

